

# うきしま

第73号  
令和2年3月19日  
PTA広報部

## 平成31年度 卒業式

令和2年2月28日（金）、浮島分校体育館において第71回卒業証書授与式が挙行され、11名が巣立っていきましました。

新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、マスク着用、アルコール消毒液配置など対策を講じての開催となりました。

閉式後、浮島での思い出を綴るスライドショー、教員による力作を上映しました。笑顔の溢れる中、高校生活を懐かしく振り返りました。その後、在校生と教職員が作る花道を卒業生が退場、在校生から花束が手渡されました。今年も浮島ならではの素晴らしい卒業式でした。



## 式辞 校長 塩尻 徹

遅れてやってきた冬の寒さも和らぎ、舞鶴湾にきらめく日差しに、新しい春の訪れを感じる今日の佳き日、本日ここに、京都府立東舞鶴高等学校浮島分校 平成三十一年度卒業式を、多数の御来賓並びに保護者の皆様の御臨席を賜り、このように厳粛に挙行できますことは、卒業生はもとより、教職員並びに生徒一同の、この上ない喜びとするところでです。公私ともご多忙のところ御臨席賜りました皆様に高段からではございますが、厚く御礼申し上げます。

只今卒業証書を手にした定時制課程十一名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんはこれまでこの浮島の学び舎で、自らの目標に向かい並々ならぬ努力を傾け、本日ここにめでたく高等学校を卒業し、新しい人生の門出を迎えようとしています。「昼間働きながら、夜学ぶ」ということは言葉で言うのは簡単ですが、本当に大変なことであったことでしょう。

皆さんはそれを立派に成し遂げて、本日ここに卒業証書を手に入れました。時には仕事や学業、人間関係のことで悩み、学校を続けられるかな、というような不安にさいなまれたこともあったでしょう。また、雨の日や雪の日、あるいは仕事で疲れ切った日には、ついつい学校に行くのがおっくうになったこともあったでしょう。しかし、皆さんは強い意志と努力でこれらの困難を乗り越えたのです。皆さんのこの努力、頑張り心から敬意を表したいと思えます。

ところで、今年も「うきしま」が完成しました。卒業生十一名の文章には、それぞれに個性は違えど、あなた方一人ひとりの「自分らしさ」が現れていて、私はそれをかみしめるように読ませてもらいました。そして、そこには確かに、「自分が高校生活を通じて成長したなあ」と自覚している言葉が並んでいました。この浮島分校での学びで身につけた、「やればできる」という自信、「自分たちはやり通したのだ」という誇り、そして思いやりの心、感謝の気持ちなどを失うことなく、これからも立派に人生を歩んでください。さて、皆さんがこれから生きて

いく社会は、急激な少子高齢化・高度情報化・グローバル化が進む社会です。近年では知識・情報・技術をめぐる状況が加速度的に変化し、社会のあり方や生活の変化は、私たちの予測をはるかに超えたものとなっています。このような変化の激しい、先行き不透明な世の中だからこそ、一人ひとりが向かう目標や目指すべき目当てが必要で。私はこの一年間、夜に浮かぶ浮島分校の灯りを目指して日々集まろう、と言い続けてきました。そして、その次には、皆さん一人ひとりがそのような灯りになれるようにと期待してきました。そして、それを確かに実現してくれました。しかし、立派に卒業式を迎えた今、これから皆さんが向かう先は浮島分校ではありません。次に自分が向かうべき灯りを、しっかりと見つめ、くれぐれも見失わないようにしてください。そして、ぜひ皆さんが灯りになってください。

卒業は人生のスタートです。卒業は、決して終着点ではありません。卒業式こそ人生の門出だ、というポジティブな言葉を、皆さんへのはなむけとして贈ります。激しい変革の時代ですが、ぜひ、勇気を持ってこの社会に飛び出して行ってください。強く、雄々しく

あってください。恐れることなく、おののくことなく前に進みましよう。必ずあなた方を支え、守ってくださいの方がおられます。そして、もしも何かに行き詰まって、どうしても助けが必要になれば、私たち浮島分校はいつでも、可能な限り皆さんの力になれるようにします。

後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠にありがとうございます。今日まで様々な御苦労もありだったでしょうが、心を込めて育ててこられたお子さまが、晴れて卒業の日を迎えられました。さぞかし感慨もひとしおのことと拝察いたしました。心からお祝い申し上げますとともに、お子さまの在学中には、本校の教育に対して、深い御理解と温かい御協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。本日にありがとうございます。お子さまが卒業されました。お子様の母校、浮島分校に今後も温かい御支援をよろしくお願いいたします。

結びに、卒業生の皆さんが浮島分校で学んだ日々を心の糧に、それぞれ分野で活躍されることを心から期待いたしますとともに、本日御臨席いただいた全ての方々、御健勝と御多幸を祈念し、式辞いたします。

祝辞

P T A会長 立山 昇

本日ここに、京都府立東舞鶴高等学校浮島分校の卒業証書授与式にあたりPTA会長として保護者を代表し一言お祝いを申し上げます。

まずもって、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんは、4年間もしくはそれ以上、暑い日も寒い日も疲れているときも気分が落ち込んでいたときも 学校に通い続けました。皆さんの強い意志と頑張りに対し、心より深く敬意を表するものであります。

また皆さんの選択を日ごろから支えていただき、温かく見守っていただいた御家族の方々に對しまして、お礼を申し上げます。

併せまして教職員の方々には、生徒たちを優しく時には厳しくご指導いただき、本日までお導きいただいたことに対して、深く感謝申し上げます。

卒業生の皆さんに贈る言葉は「皆と生きる」です。これからの人生において、思い通りに行かないときもあるでしょう。苦しいとき、悲しいときには、他の人の力を借りながら解決してください。たくさんの問題を一人で抱えてしまつては倒れてしまいます。皆さんは決して一人ではありません。

他の人から助けてもらいながら、時には助ける側に回って行くのです。苦しいときには自暴自棄にならず、自分を信じて定時制高校での学びを思い出してください。きつと進むべき方向が見つかることと思えます。

これからは身体と心の健康に留意され、人生を豊かなものにしていただきたいと存じます。

皆さんの将来に希望を託して、本日のお祝いの言葉といたします。



学年の様子

四年担任 山本彰治

去る2月28日に卒業証書授与式を行いました。中には卒業が危ぶまれた生徒もいましたが最後は頑張り、11名全員が出席し、無事に浮島から巣立っていきました。今年には皆さんが知



新型コロナウイルスが流行し卒業式前日に安倍首相が 感染拡大を防ぐためとして全国の中学校・高校などが臨時休校を急ぎました。浮島分校も一部式典を省略し、マスク着用という前代未聞の卒業式となりましたが、ほぼ予定どおり行うことができました。

後になつては一つの思い出話となつて記憶に残ることでしょう。四月からは進学や就職等で高校生から社会人等になりますが、このまま社会に出て行つて、しっかりとやっつけていけるのかなという不安もあります。まだ進路が決まつていない生徒もいますが、地に足をつけて、それぞれしっかりと頑



張ってほしいと思います。  
また元気な姿をたまには見せに来てください。  
三年間という長いようで短い間でしたが、担任として務めさせていただき、至らぬ点多かったと思います。保護者の皆様を含め、ありがとうございました。

**一年担任 山本 達也**

短い三学期も終わり、いよいよ二年生に進級します。この一年間は、みなさんにとってどんな年間だったでしょうか。

みなさん初めは夜に学校へ通う生活や新しい人間関係に戸惑いを見せていました。しかし、今となってはすっかり浮島分校に慣れきり、アルバイトとの両立に努める人が多くなってきました。もちろん学業以外にすべきことはアルバイトだけではありませんが、今後も意欲的にアルバイトを中心とした活動を昼間に行い、それから学校に通ってほしいと思います。  
一方で、欠課時数が多くなってしまう人も、少なくありません。体調不良になってしまったときなど、どうしようもないときに学校を休むなら無理はありません。しかし、そうではない理由で休みが多くなることがあったはずで、自分で自分を苦しめることのないよう、二年生では授業を前向きに取り組んでください。

二年生になるということ、後輩ができるということ、4月からは後輩との関わり合いも楽しみながら、浮島分校の先輩として見本になる姿を見せられるよう、背筋を伸ばして、また良い一年を送れるようにしましょう。



**二年担任 稲原 秀紀**

新型コロナウイルス感染症により学校が臨時休校となり、大混乱の年度末となってしまいました。が今学期も終わろうとしています。今年度も一年間お世話になりました。今年度が終わると高校生活も折り返し地点です。二年後にはそれぞれの進路に向けて歩き出さなくてはなりません。二年生の一年間で面談や授業等で進路実現に向けての話や取組を行ってきました。ある程度、自分の進路が想像できたのではないのでしょうか。しかしこれで満足してはいけません。四年生の一学期が終わると同時に就職活動や大学、専門学校受験が始まります。あと一年半もすれば



進路が決まる生徒も出てきます。まずは、自分のことを理解して希望進路を定めてください。そして、そこから逆算し自分が今しないといけないこと、なにか。自分の行動は本当に正しいのか。三年生では将来のことを考え自分と向き合う一年にしてください。



**三年担任 温井 正人**

暖冬のせいでも雪もほとんどなく三学期が終わろうとしています。雪を心配せずに過ごせたのはよかったですが、代わりに世界を揺るがす新型コロナウイルス騒動で学校が三月に入るや否や臨時休校になったのは周知の通りです。現生人類の歴史は20万年、微生物は40億年を生き抜いてきた強者、今回はそういうことを思わせてくれました。

さて、進級できた皆さん、四月からは漸く最終学年です。本来なら三年間で終了ですが、定時制課程なのであと一年間の辛抱です。各人様々な状況での学業継続と思えます。しかし幸いある程度健康に恵まれている人が多いので、踏ん張って欲しい処です。

最初に勤めた学校で呼吸器に重篤な障害のある生徒さんを担任したことがありました。最後はボンベを置いての受講でしたが、結局卒業できず、療養地で亡くなられたのは残念でした。まず健康ならば、目標を持ち努力次第で卒業は叶うことと思います。



**分掌より**

**教務部長 村上 和也**

一年間教務として生徒の学習全般の運営をしてきました。他校に比べて一クラスの生徒数が大変少なく、行き届いた学習環境の中で一人一人の成長を支援してこれたのではないかと思います。

進級・卒業に必要な出席数と成績については、欠席過多で進級ができない生徒が残念ながら今年度も複数名ありました。特に理由もなく休む生徒や、授業の中抜けをする生徒にその傾向が強く見られます。食べ物の好き嫌いが人の成長に良くないように、授業の好き嫌いもその人にとってマイナスに

しか働かず、学校を続けられない原因の一つになっているように思います。下の学年ほどその傾向を強く感じます。  
来年度こそは全員が進級・卒業してほしいと思います。  
なお、来年度は4月8日に始業式となります。

**生徒指導部長 新築 達也**

今年度、生徒指導部長として皆さんの生活指導を行いました。一年間を通して、皆さんは非常に落ち着いて学校生活を送ることができていたように思います。こちらからの指導を必要とする場面が少なかったように感じます。しかし上履きに履き替えない人がいたり、授業中にスマホを触る人がいたりするなど、何度も同じ事を言われても一向に態度を改めようとしない人が一定数いることも事実です。このことは非常に残念なことです。春休み中に自分自身の生活態度を見直して、来年度からは態度が改善されることを期待しています。

気な姿で四月に登校することができるとを願っています。

**進路指導部長 森戸 康博**

今年度の卒業生も、新しく進学先や就職先を決める人が多かったようです。現職を続ける方も含めて、社会人としての今後の活躍が楽しみであります。在校生諸君も、良き先輩に倣って辛抱と切磋琢磨を続け、立派な社会人となつてくれることを願っています。

一番の課題だと思ふことは、「学力」の不足で、生徒諸君も自覚しています。聞く・話す・読む・書く・計算するといった基礎学力がないと、つき合う人間が偏ったり、せつかくのチャンスを活かすことが出来ず、自分の考えで行動しにくく、幸せに近づく機会が少なくなるようです。



実力をつけて下さい。

日々、学校の授業を絶対におろそかにしないことです。仕事や勉強が忙しいうちから進級や卒業することだけを目標にせず、しっかりと

また、定時制のメリットを活かして、学校では出来ない経験を積んでください。昼間に多くの経験を積み、自分の得意なことを見つけて伸ばしてください。

**保健部 戸井田 愛理**

新型コロナウイルス感染症が世界的な問題となっています。この影響から今年度も残りわずかとなりました。感染者が増えているなか、私たちは自分自身を守るためにできることを知っておく必要があります。手洗いや咳エチケットによるマスクの着用はもちろん大切な対策になります。さらに、風邪症状や少しでも体調が悪いと感じたら無理をせず休養してください。これらに加えて行ってほしいのが、普段の健康管理です。十分な睡眠とともにバランスのとれた食事をとることによって免疫力がアップします。免疫力をつけておくと、感染症にかかりにくい体になります。それは、毎日元気に過ごせるということにもつながります。

「感染症が流行っているから」といろいろな対策をすることも大切ですが、日頃から「自分の身体の健康のためにできること」に取り組んでほしいと思います。

新年度、元気なみなさんに会えることを楽しみにしています。

**トピックス**



卒業生より、卒業記念品として電波時計二個が贈呈されました。在校生の皆さんはこの時計を見る度に時間の大切さを感じてほしいと思います。

**☆ 編集後記 ☆**

今年も無事、卒業生を送り出すことができ嬉しく思います。卒業生のこれからの活躍をお祈りします。

新型コロナウイルス感染症の流行により、社会全体が混乱しています。この状態が一日でも早く収束し、令和二年度が円滑に始まることを願っています。

**今後の予定**

- 3月27日(金) 入学予定者説明会
- 4月8日(水) 始業式
- 4月9日(木) 入学式